

北アルプス 乗鞍岳 山スキー

小暮

【日 時】 2007年4月15日(日)
 【メンバー】 田辺(L)、小暮、佐藤(耕)、藤本

乗鞍高原温泉スキー場はすでに営業終了しており、三本滝の駐車場まで車が入る。深夜の駐車場はさながらテント村のような盛況であった。翌朝、次々と出発していくパーティの後からリフト脇を登っていく。エコーラインの道路で2度スキーを脱ぐのが面倒である。位ヶ原まではスキー場のオフピステとして整備されており、ルート沿いの樹木は伐採されており、道標もしっかりとつけられている。安心ではあるが、スキー場を登っているみたいである。

位ヶ原を過ぎると大雪原となり、乗鞍岳を正面に雄大な景色が広がる。ここまで広々としていると多少人が多くても気にならない。ここからは山頂を踏むことにこだわらなければどこでも自由に滑れそうだ。高天原、剣ヶ峰、肩ノ小屋往復、摩利支天岳、いったいどこにするか迷ってしまう。今回、藤本さん以外は乗鞍岳のスキーは初めてなので、剣ヶ峰のピークを目指す。肩ノ小屋の手前からはトラバースして稜線沿いに登る。次第に傾斜が厳しくなりアイゼンに切り替える。利香さんは、自慢のスキーアイゼンで頑張っている。

山頂直下の稜上に着くと、穂高、御嶽山など景色が素晴らしい。スキーアイゼンしか持ってきていない利香さん以外の3人で山頂を往復した。ここからお楽しみの滑降である。山頂直下のコルから東面に滑り込む。雪は適度な硬さで思ったより滑りやすい。思い思いのシュプールを刻む。練習不足の私でもテレマークターンが出来る大斜面で春スキー満喫。やはり人が多くても定番ルートはいいですね。好きなところが滑れるので、またいつてもいいかもしれません。

【行程】 三本滝(7:30)～位ヶ原(9:30)～山頂直下(12:10/30)～山頂(12:50)～三本滝(14:30)

【地図】 乗鞍岳



穂高を眺めつつ滑る



山頂直下の大斜面



位ヶ原。とてもいいところです。